

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」関連トピックスを  
月イチでお届けするニュースレター

# 新潟大学J-PEAKS NOW Vol.6

2026  
April  
4

## FEATURE

### 【5/14締切】J-PEAKS戦略的飛躍プログラム（SLP）提案募集中！

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）の一環として、本学の研究力およびイノベーション創出力の飛躍的向上を目的に、「戦略的飛躍プログラム（Strategic Leap Program：SLP）」の公募を開始しました。

本プログラムは、将来的な高評価指標論文の創出、新領域の開拓、社会実装や地域創生等につながる成果を見据え、研究体制の整備や研究基盤の構築を戦略的に支援することを目的としたものです。

意欲的な研究提案を広く募集しますので、多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

公募の詳細については、以下からご確認ください。（学内専用）

<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/ZYBMRV>

#### 【募集内容】

本プログラムは、コアステージ（R8～9年度）および飛躍ステージ（R10～11年度）の2ステージで戦略的投資を行います。

今回募集するコアステージは、事前申請（概要版）と、これを通過した課題を対象とする本申請の二段階審査により選考します。

- ・募集区分：コアステージ
- ・支援期間：2年間（R8～9年度）
- ・支援額：年額300～500万円（年度ごとに支援額が異なる計画も可）
- ・採択予定件数：25件程度

#### 【申請期間】

- ・事前申請期間：令和8年4月1日（水）～5月14日（木）17:00
- ・本申請期間：令和8年7月1日（水）～7月30日（木）17:00

新潟大学研究者の皆さまへ

# 研究の次元を上げ、さらなる飛躍へ

全学対象公募事業  
戦略的飛躍プログラム  
Strategic Leap Program **SLP**  
R8-9コアステージ公募開始  
2026.4.1(水)-5.14(木)17時締切

SLPでは、現在得られている成果・実績をもとに、J-PEAKS R&Iシステム（センター・連携機関・UA等）を活用して研究の次元を上げ、次の成果の創出を目指す取組を募集します。ふるってご応募ください。

✓ SLPは2ステージ  
R8-9年度 コアステージ ※今回公募  
最大500万円/件×2年  
R10-11年度 飛躍ステージ  
最大1,000万円/件×2年  
R9ステージゲート審査も若干公募

対象者 55歳以下の本学専攻研究員を代表者とする研究チーム（学外共同研究可）  
支援金額・期間 300-500万円/件・2年間  
採択予定件数 25件程度  
詳細 応募要領（PDFダウンロード）  
<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/ZYBMRV>  
お問い合わせ 研究推進研究拠点IT課  
[kenkyukyokum@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:kenkyukyokum@adm.niigata-u.ac.jp)

✓ SLP3つの必須要件

- 1 販以外の「食と健康」のいずれか、または両方に関連したチーム。資金の確保も含めた発見的創出の創出が図られていること。
- 2 J-PEAKS新施設、連携機関、共同機関、連携実地施設との有機的な連携（連携・活用）していること。（対象施設等は公募要領参照）
- 3 「食と健康」のいずれか、または両方に関連したチーム。資金の確保も含めた発見的創出の創出が図られていること。

## ✓ J-PEAKS主要共用機器のご紹介

SLPでは、J-PEAKS新施設、連携機関、共用機器、既存実地型施設との有機的な連動を、3つの要件の一つとしています。本号ではその中から、J-PEAKS事業で導入した先進の全学共用機器のうち、注目度の高い主要共用機器をご紹介します。

### マルチバイオセーフティレベル対応 セルソーティングシステム

特定の細胞集団を高いスループットで分離し、下流のアプリケーションでの感度と特異性を向上させることができます。遺伝子編集、幹細胞生物学、免疫学、ゲノミクスなどの分野で利用されており、P1/BSL1レベルおよびP2/BSL2レベルで分析可能です。



医学科共同研究棟2階

### レーザーマイクロダイセクションシステム LeicaLMD7

病理標本からのオミックス解析、植物組織の局所応答解析、培養細胞の単一細胞回収、蛍光標識組織の解析、組織の微小領域解析などが可能です。



医学科共同研究棟2階

### 高深度・高スループット質量分析 システム Orbitrap Astral Zoom

タンパク質の網羅的発現解析や、超微量の資料にも対応し、多検体に対して高深度のプロテオーム解析が可能です。



医学科共同研究棟3階

★対象機器は、[共用設備予約システム「OFaRS II」](#)でキーワード「J-PEAKS」入力で検索可能ですので、ぜひチェックしてみてください！

ChBRI  
シブリひと脳研究資源イニシアチブ推進センター  
Center for Human Brain Resource  
Initiative

## 大切に受け継いできた研究資源を活かし、さらなる発展へ

ChBRIとは、脳資源を活用し研究・教育を担う組織として、国際水準での先端的な研究を推進し、人材育成に取り組み、イノベーションを起こすことを目的とするセンターです。

2026年3月下旬に、脳研究所 病理学分野および脳疾患標本資源解析学分野が、このたび新拠点となる"脳といのち"のイノベーションハブ (BIH) へ移転いたしました。ブレインバンクで保管されている組織標本リソースについても、品質を損なうことのないよう万全の体制で作業を進め、無事に新拠点へ移すことができました。

今後はChBRIとして、さらなる研究の発展に努めてまいります。

ChBRI  
シブリ  
Center for Human  
Brain Resource  
Initiative

"脳といのち"のイノベーションハブ (BIH) 3-4階

iRICE  
アイライスコメと環境の国際イノベーション共創センター  
International Rice Co-Creation innovation  
Center for Climate and  
Environmental Resilience

## 新潟から、世界のコメ問題を解く

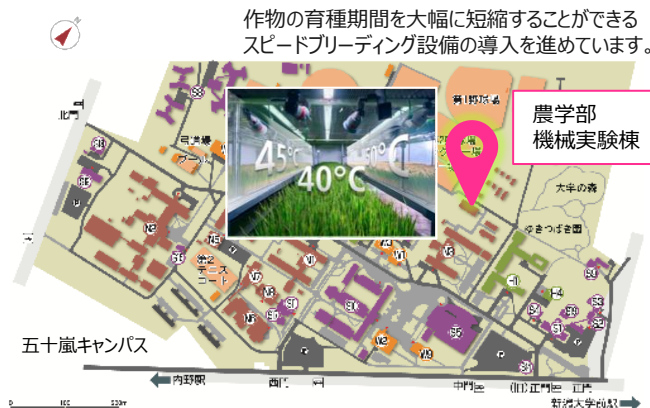
世界の主食として、約50億人の命を支えるコメ。しかし今、地球規模の気候変動により安定生産を脅かす事象が頻発しています。かつてない高温・干ばつ・塩害など、複数のストレスが複合的に農地を襲い、世界各地で収量や品質の低下が深刻化しています。

新潟大学は、コメが直面するこの危機に最前線で挑むべく、新潟大学「コメと環境の国際イノベーション共創センター (iRICE)」を設立しました。

未来の食の安全保障を守るという使命のもと、日本のコメ農業の再生と世界の食料安全保障への貢献を目指し、最先端の研究に取り組んでいます。

## iRICE4つの特徴

1. 「気候変動」「温室効果ガス削減」に正面から取り組む
2. 産学官の国際連携により、地球規模の課題に挑む
3. 稲作の未来のため、世界の知見を結集し、コメの課題解決に取り組む
4. 研究で終わらせない。課題解決に向け、社会実装まで一貫して取り組む



作物の育種期間を大幅に短縮することができる  
スピードブリーディング設備の導入を進めています。

農学部  
機械実験棟

センター長：柿田 明美 (脳研究所・教授)  
戦略室長：阿部 知子 (経営戦略本部UA室・上席UA)  
TEL : 025-227-0636 (事務室)  
Webサイト: <https://pathology-bri-niigata-u.jp/>

センター長：山崎 将紀 (自然科学系・教授)  
戦略室長：藤巻 義博 (社会連携推進機構・特任教授)  
TEL : 025-262-7554  
メール: [kyoso@ccr.niigata-u.ac.jp](mailto:kyoso@ccr.niigata-u.ac.jp)  
Webサイト: <https://irice.nu.niigata-u.ac.jp/>

## ● J-PEAKSプチコラムー現場からのひとこと便り ●

勤務場所がBIHに移って数か月が経ちました。最近でも、「元・池原会館です」と説明したり、池原会館だと思って来られた方をお迎えしたりすることがあります。積極的にBIHを研究者の方との打合せ場所にしつつ、ちょっとしたご紹介が、対話のきっかけになるのも今の時期ならではの気がします。一方で、企業の方々との交流に向けたスペースの活用も、これから本格化していきます。知名度を高めることと同時に、ここが人とアイデアが自然に行き交い、次の対話につながっていく場として機能していくことが重要だと感じています。この場所での小さな出会いややりとりを積み重ねながら、「脳といのち」をめぐる研究と社会をつなぐ拠点を、少しずつ形にしていきたいと考えています。(TA)

## ● お問合せ・ウェブサイト ●

○お問合せ：新潟大学 研究企画推進部 研究推進課  
TEL: 025-262-7174  
MAIL: [kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp)

○新潟大学J-PEAKS ウェブサイト  
<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/>  
本学J-PEAKS関連のイベント情報や活動状況をご確認いただけます。



○新潟大学J-PEAKS 学内者向けページ  
<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/2PLWiy>

全学への迅速な情報共有および事業運営の透明性を図るため、予算配分を含むグランドデザインや会議資料等を、常時学内限定公開しています。よりも詳しい情報をご覧になりたい場合は、こちらにアクセス願います。

